Canon

キヤノンデジタルカメラ

PowerShot G7

基本編

カメラユーザーガイド

はじめにお読みください

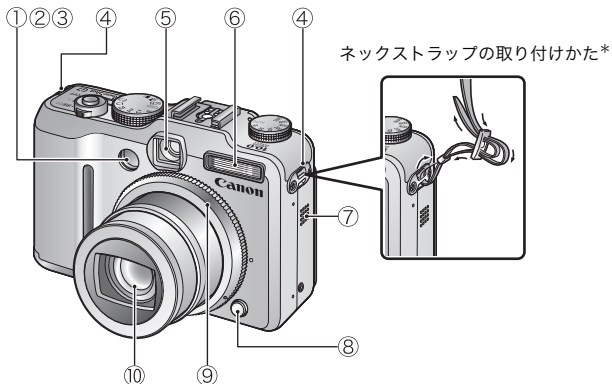
本書では、カメラの準備や基本的な使いかたを説明しています。

DCF CERTIFIED HI-SPEED USB

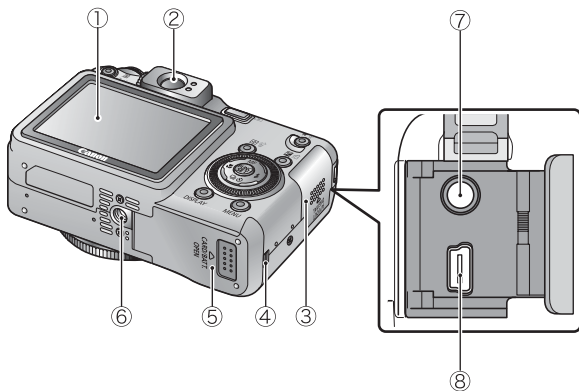
ガイドの使いかた

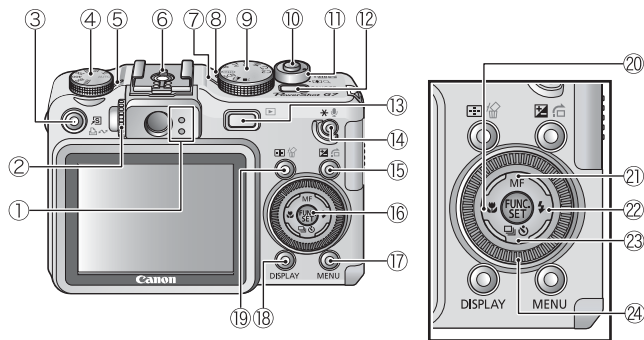
以下のガイドが用意されています。必要に応じてお読みください。

各部の名称

■前面

① AF 補助光投光部（応用編 p. 24）
②赤目緩和ランプ（p. 16）
③セルフタイマーランプ（p. 18）
④ネックストラップ取り付け部
⑤ファインダー窓（p. 4）
⑥ストロボ（p. 15）
⑦スピーカー
⑧リング取り外しボタン（応用編 p. 136）
⑨リング（応用編 p. 136）
⑩レンズ

*ストラップを引っ張っても止め具の部分でゆるまないことを確認してください。もう一方のストラップ取り付け部にも、同じようにストラップを取り付けます。
*カメラをネックストラップで下げているときは、振り回すような持ち方を避け、他のものに引っ掛からないように注意してください。

■背面

①液晶モニター（応用編 p. 12）
②ファインダー接眼部（p. 4）
③端子カバー
④ DC カプラーケーブル用カバー（応用編 p. 134）
⑤メモリーカードスロット / バッテリーカバー（p. 6）
⑥三脚ねじ穴
⑦ A/V OUT（映像 / 音声出力）端子（応用編 p. 127）
⑧ DIGITAL（デジタル）端子（p. 29）

■操作部

①ランプ（p. 5）
②視度調整ダイヤル（p. 4）
③ (ショートカット) / (イージーダイレクト) ボタン（p. 24、p. 32、応用編 p. 77）
④ ISO ダイヤル（応用編 p. 35）
⑤ ISO ランプ
⑥アクセサリーシュー（応用編 p. 138）
⑦電源ランプ
⑧マイク（応用編 p. 95、96）
⑨撮影モードダイヤル（p. 10、p. 11）
⑩シャッターボタン（p. 10）
⑪ズームレバー（p. 14、応用編 p. 33）
撮影時：(広角) / (望遠)
再生時：(インデックス) / (拡大)
⑫電源スイッチ（p. 9）
⑬ (再生) ボタン（p. 9）
⑭ (AE ロック/FE ロック) / (マイク) ボタン（応用編 p. 63、65、95、96）
⑮ (露出) / (ジャンプ) ボタン（応用編 p. 38、p. 86）
⑯ FUNC./SET（ファンクション / セット）ボタン（p. 22）
⑰ MENU（メニュー）ボタン（p. 23）
⑱ DISPLAY（ディスプレイ）ボタン（応用編 p. 12）
⑲ (AF 枠選択) / (1 画像消去) ボタン（p. 21、応用編 p. 57）
⑳ (マクロ) / ← ボタン (p. 17)
㉑ MF (マニュアルフォーカス) / ↑ ボタン（応用編 p. 60）
㉒ (ストロボ) / → ボタン（p. 15）
㉓ (連写) / (セルフタイマー) / ↓ ボタン（p. 18、応用編 p. 41）
㉔コントローラーホイール（p. 4）

■ファインダーを使う

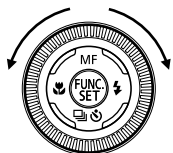
液晶モニターを非表示にし（応用編 p. 12）、ファインダーを使って撮影すると、消費電力を抑えることができます。

・ファインダーから被写体がはっきり見えるように、視度調整ダイヤルで調整してください。−3.0 〜+1.0 1/m（dpt）の範囲で調整できます。

・ファインダーの視野率*は、約 80%です。

*実際に撮影される範囲に対して、ファインダーで確認できる範囲の比率です。

コントローラーホイール

コントローラーホイールは、反時計回りで ← ボタン、時計回りで → ボタンを押すのと同じ働きをします（機能によっては ↑/↓ ボタンの働きをする場合もあります）。
コントローラーホイールで、主に以下のことができます。

この矢印が表示されているときは、コントローラーホイールで操作します。

■撮影時の機能

・スペシャルシーンでのモード選択（p. 11）
・⚡/⧉ ⏲/✿の選択（p. 15、17、18 応用編 p. 41）
・FUNC. メニューでの項目選択（p. 22）
・動画モードの選択（応用編 p. 50）
・スティッチアシストの方向選択（応用編 p. 48）
・**Tv** でのシャッタースピードの選択（応用編 p. 44）
・ **Av** での絞り数値の選択（応用編 p. 46）
・**M** でのシャッタースピードと絞り数値の選択（応用編 p. 47）
・AF 枠の選択（応用編 p. 57）
・マニュアルフォーカスでのピント合わせ（応用編 p. 61）
・プログラムシフト（応用編 p. 64）
・露出補正（応用編 p. 38）

■再生時の機能

・再生モード時の画像選択（p. 20、応用編 p. 83、84、86）
・動画再生･編集時の各種操作（応用編 p. 87、89）
・音声メモ、サウンドレコーダーの操作（応用編 p. 95、96）
・DPOF の印刷指定、送信指定の操作（応用編 p. 105、109）

■撮影時と再生時の機能

・メニューでの項目選択（p. 22、23）
・世界時計のエリア選択（応用編 p. 20）
・時計の表示色（応用編 p. 13）
・マイカメラでのコンテンツの登録操作（応用編 p. 112）

ランプの点灯 / 点滅について

カメラのランプは、以下の場合に点灯、点滅します。

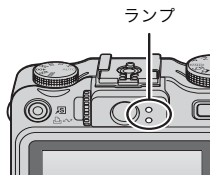
ランプが緑色に点滅しているときは、絶対に次のことを行わないでください。画像データが壊れることがあります。
- 振動や、衝撃を与える
- 電源を切ったり､メモリーカードスロット / バッテリーカバーを開ける

● **上側のランプ**

緑点灯：撮影準備完了
緑点滅：画像の記録 / 読み出し / 消去 / 転送（パソコン接続時）

橙点灯：撮影準備完了（ストロボ発光）
橙点滅：撮影準備完了（手ぶれ警告）

● **下側のランプ**

黄点灯：マクロ撮影 / マニュアルフォーカス撮影 /AF ロック撮影
黄点滅：ピントが合いにくいとき（電子音が 1 回鳴ります）。

準備する

1. バッテリーを充電する

次のような場合に、バッテリーを充電してください。
・はじめて使用するとき
・「バッテリーを交換してください」とメッセージが表示されたとき

1.バッテリーチャージャーにバッテリーをセットする

2.コンセントに差し込む

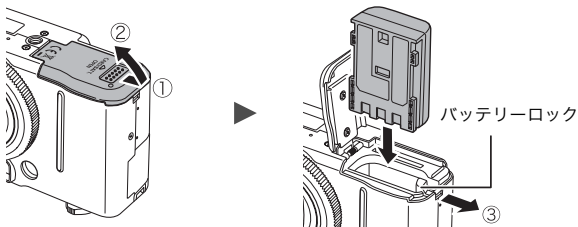
充電中は充電ランプが橙色に点灯し、充電が完了すると緑色に点灯します。約 1 時間 30 分で充電が終わります。

応用編：バッテリーの取り扱い（p. 128）

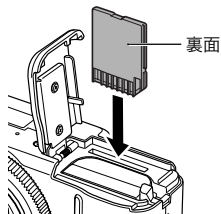
2. バッテリーを入れる

1.メモリーカードスロット / バッテリーカバーを矢印の方向へスライドして（①）開く（②）

2.バッテリーロックを矢印の方向に押しながら（③）、バッテリーがロックされるまで入れる

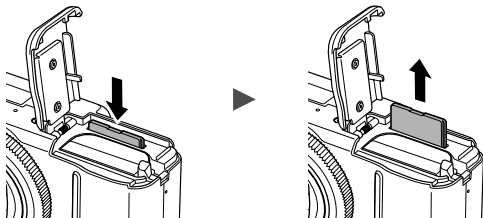
バッテリーを取り出すときは、バッテリーロックを矢印（③）の方向に押しながら取り出します。

3. メモリーカードを入れる

1.メモリーカードを「カチッ」と音がするまで差し込む

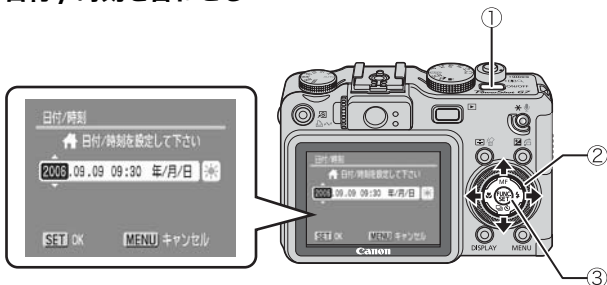
2.メモリーカードスロット/バッテリーカバーを閉じる

メモリーカードは、必ず正しい向きでカメラに入れてください。誤って逆に入れた場合、カメラがメモリーカードを認識しなかったり、カメラの故障の原因となることがあります。

応用編：メモリーカードの取り扱い（p. 131）
応用編：メモリーカードを初期化する（p. 30）

■メモリーカードを取り出すには

「カチッ」と音がするまで、指でメモリーカードを奥に押し込んで放します。

このカメラでは、SD メモリーカード、SDHC メモリーカードとマルチメディアカードをお使いになれます。このガイドでは、これらをメモリーカードと表記します。

はじめてお使いの場合

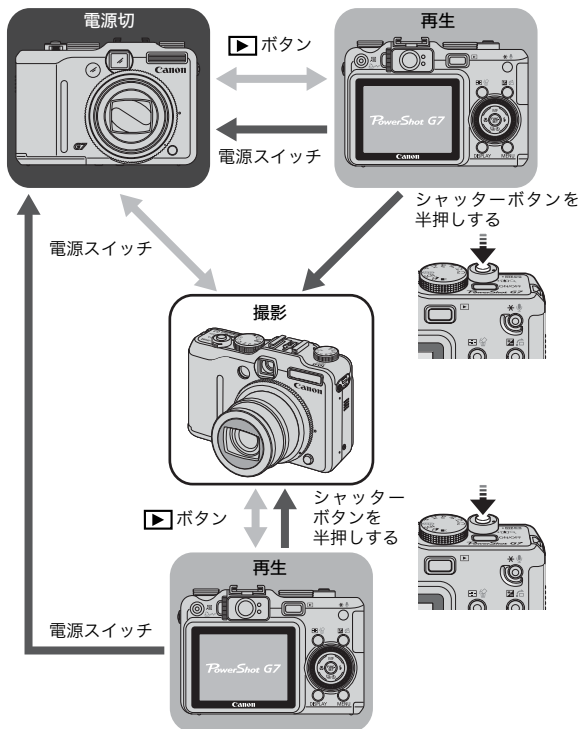
■日付 / 時刻を合わせる

1. 電源スイッチを押す（①）
2. ←/→ ボタンで設定したい項目を選び、↑/↓ ボタンで設定する（②）
   サマータイムを設定する場合は、☀を選び、↑/↓ ボタンで設定します。
3. 正しい日時が表示されていることを確認し、FUNC./SET ボタンを押す（③）
   設定メニューでも日付 / 時刻を設定できます（p. 23）。

- カメラには、日付 / 時刻などの設定を保持するためのリチウム充電池が内蔵されています。カメラにバッテリーを入れたときに充電されますので、ご購入時に、バッテリーを 4 時間程度入れておくか、AC アダプターキット ACK-DC20（別売）を使用して充電してください。カメラの電源が入っていなくても充電できます。
- バッテリーを取り出してから約 3 週間経過すると、設定した日付 / 時刻が解除される場合があります。再度、設定し直してください。

→ 応用編：世界時計を設定する（p. 20）

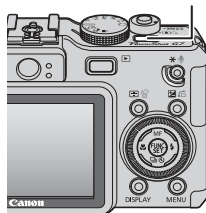
■メニューの表示言語を設定する

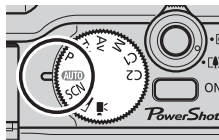
1. ▶ボタンを押す
2. FUNC./SET ボタンを押しながら、MENU ボタンを押す
3. ↑/↓/←/→ ボタンで言語を選び、FUNC./SET ボタンを押す
   設定メニューでも表示言語を設定できます（p. 23）。

■撮影モード / 再生モードを切り換える

撮影する

1. 電源スイッチを押す

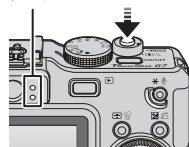
起動音が鳴り、液晶モニターに起動画面が表示されます。

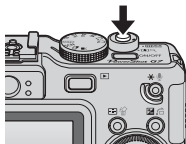
- もう一度電源スイッチを押すと、電源が切れます。
- DISPLAY ボタンを押しながら電源スイッチを押すと、消音設定が［入］になり、警告音以外のすべての音が鳴らない設定になります。

→ 応用編：液晶モニターの使いかた（p. 12）
→ 応用編：節電機能について（p. 19）
→ 応用編：設定メニュー（p. 26）
→ 応用編：マイカメラメニュー（p. 28）

2. 撮影モードダイヤルを AUTO（オート）にする

3. 被写体にカメラを向ける

4. ピントを合わせて撮影する

1.シャッターボタンを浅く押して（半押し）、ピントを合わせる

ピントが合うと電子音が「ピピッ」と2 回鳴り、ランプが緑色（ストロボ発光時は橙色）に点灯します。また液晶モニターには、ピントが合った位置にAF 枠が緑色で表示されます。

2.シャッターボタンを深く押して（全押し）、撮影する

シャッター音が鳴り、撮影されます。ランプが緑色に点滅し、メモリーカードに記録されます。

ランプの点灯 / 点滅について（p. 5）
応用編：AF 枠を選択する（p. 57）
応用編：手ぶれ補正を設定する（p. 32）
応用編でいろいろな撮影方法をご確認ください。

■撮影直後に画像を確認する

撮影直後に約 2 秒間、撮影した画像が表示されます。
次の方法で設定時間にかかわらず画像を表示し続けます。

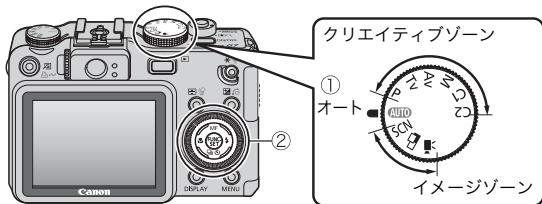
・シャッターボタンを全押しし続ける
・撮影した画像が表示されている間に FUNC./SET ボタン、または DISPLAY ボタンを押す

画像表示の解除のしかた：シャッターボタンを半押しします。

応用編：撮影の確認（p. 24）
応用編：撮影直後にピントを確認する（p. 42）
消去する（p. 21）

撮影モードを選ぶ

1. 撮影モードダイヤルを撮影したいモードにする（①）

SCN、動画 のときは、コントローラーホイール（②）を回して撮影モードを選びます。

■撮影モードの種類

オート

AUTO カメラまかせで撮影できます。

イメージゾーン

撮影状況に応じた撮影モードを選択すると、最適な撮影ができるように、カメラが自動的に設定を行います。

SCN（スペシャルシーン）

撮影シーンに最適な撮影ができます。

ポートレート

背景をぼかして人物を浮き立たせます。

風景

近景から遠景まで奥行きのあるシーンの撮影に最適です。

夜景

夕暮れや夜景をバックにした人物を撮影できます。人物にストロボ光をあて、遅いシャッタースピードで撮影するため、人物、背景ともきれいに撮影できます。

スポーツ

オートフォーカスをしながら連続撮影できます。動きのある被写体を撮影するのに適しています。

応用編（p. 41）

ナイトスナップ

夕暮れや夜景をバックに人物をスナップ撮影したいとき、三脚がなくても手ぶれを少なく撮影できます。

キッズ&ペット

よく動きまわる子供やペットを、シャッターチャンスを逃さずに撮影できます。

パーティー/室内

蛍光灯や電球のもとで、手ぶれをおさえて被写体に忠実な色味で撮影できます。

新緑/紅葉

新緑、紅葉、桜など、木々や葉を色鮮やかに撮影できます。

スノー

雪景色をバックにしても人物が暗くならず、青みも残らないで撮影できます。

ビーチ

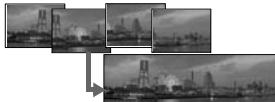
太陽光の反射の強い海面や砂浜でも、人物などが暗くならずに撮影できます。

打上げ花火

打上げ花火を最適な露出で鮮やかに撮影できます。

水族館

屋内の水槽内の魚などを撮影するのに適した感度、ホワイトバランス、色味に設定されます。

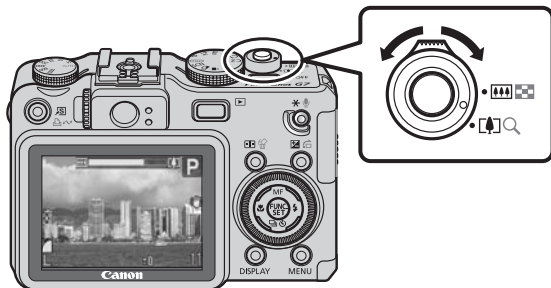
イメージゾーン	**水中** ウォータープルーフケースWP-DC11（別売）を使った水中での撮影に最適です。水中に最適なホワイトバランスに設定され、青みをおさえた自然な色合いで撮影できます。
	ISO3200 ISO 感度が 3200に設定されます。より高感度に設定したいときに使用します（ISO1600：ISO1600比で2倍）。被写体ぶれや手ぶれを抑えて撮影できます。
	ワンポイントカラー 画面内の指定した色以外を白黒にして撮影できます。 ➔応用編（p. 73）
	スイッチカラー 画面内の指定した色を別の色に変更して撮影できます。 ➔応用編（p. 74）
	スティッチアシスト 撮影した画像をパソコンで合成してパノラマ画像を作れます。 ➔応用編（p. 48）
	動画 シャッターボタンを押すと、動画を撮影できます。「スタンダード」の他、パソコンのモニターで大きく見るのに適した「ラージ」、メールの添付に便利な「ライト」、指定した色以外を白黒にして撮影する「ワンポイントカラー」、指定した色を別の色に変更して撮影する「スイッチカラー」に設定できます。 ➔応用編（p. 50）
クリエイティブゾーン	**P、Tv、Av、M、C1、C2** 露出や絞りを変えるなど、思いどおりのさまざまな撮影ができます。 ➔応用編：（p. 44 ～ 48、55）

➔応用編：各撮影モードで設定できる機能一覧（p. 160）

- では、記録画素数は M3 に固定されます。
- 、では、シャッタースピードが遅くなります。手ぶれを防ぐために必ず三脚をお使いください。
- 、、、、、、、、では、撮影シーンによっては、ISO 感度が上がり、画像にノイズが増えることがあります。
- は、被写体から 1m 以上離れてお使いください。

- 水中で撮影する場合は、ウォータープルーフケース WP-DC11（別売）を装着してください。
- スキー場や海辺で撮影する場合は、ウォータープルーフケース WP-DC11 の装着をおすすめします。

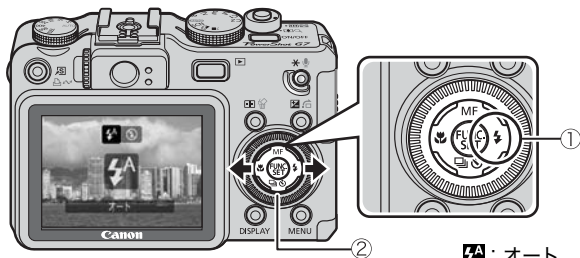
ズームを使う

1. ズームレバーを 側、または 側に押す

35mm フィルム換算で、35 ～ 210mm（焦点距離）の範囲で画角を調節できます。ズーム操作中は、ズームバーが表示されます。

広角：被写体が小さくなります。

望遠：被写体が大きくなります。

ストロボを使う

1. ボタンを押し（①）、/ボタンで切り換える（②）

：オート
：常時発光
：発光禁止

赤目緩和機能を設定する（p. 16）
スローシンクロを設定する（p. 16）

（オート）では、は設定できません。

応用編：各撮影モードで設定できる機能一覧（p. 160）
撮影モードを選ぶ（p. 11）

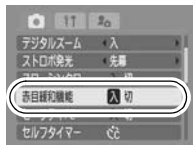
手ぶれ警告アイコン（）が表示されたときは、三脚などでカメラを固定して撮影することをおすすめします。

■赤目緩和機能を設定する

ストロボ発光時、自動的に赤目緩和*ランプを発光させるかどうかを設定します。

*ストロボの光が反射して目が赤く写るのを軽減する機能です。

1. （撮影）メニュー▶[赤目緩和機能] ▶[入] * / [切]

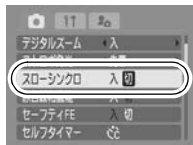
➔メニューの表示と設定のしかた (p. 22)

*初期設定

■スローシンクロを設定する

遅いシャッタースピードで、ストロボを発光して撮影します。夜景や室内の照明を利用した撮影などで、背景だけが暗くなるのを軽減できます。

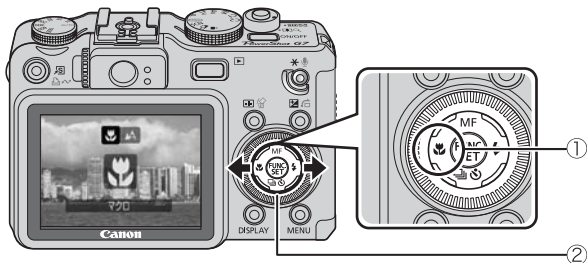
1. （撮影）メニュー▶[スローシンクロ] ▶[入]/ [切] *

➔メニューの表示と設定のしかた (p. 22)

*初期設定

AUTO（オート）では、スローシンクロは設定できません。

[スローシンクロ] を [入] にして撮影すると手ぶれしやすくなります。その場合、三脚をお使いになることをおすすめします。

至近距離（マクロ）で撮る

1. ボタンを押し（①）、←/→ボタンでを選ぶ（②）

ズーム操作中にズームバーが表示され、マクロ撮影ができないズーム領域には黄色いバーが表示されます。黄色の領域まで望遠にすると、マクロアイコン（）がグレーで表示されます。この場合もシャッターボタンは押せますが、通常モードと同じ撮影になります。ズームバーは、約 2 秒後に消えます。

解除のしかた：ボタンを押して、を選択します。

	至近距離（マクロ）	花や小さなものなどに近付いて大きく撮れます。 被写体に最も近付いたときの撮影範囲（撮影距離） ・最も広角側：28 × 20mm（レンズ先端から1cm）

- マクロモードでは、液晶モニターを使って撮影してください。ファインダーを使うと、撮影範囲がずれます。
- マクロモードで内蔵ストロボを使う場合は、内蔵ストロボ撮影範囲を、応用編の p. 146 でご確認ください。

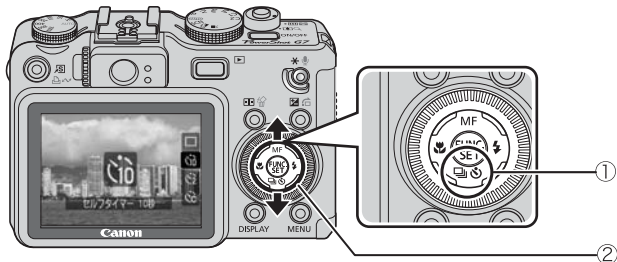
撮影モードによっては設定できないことがあります。

応用編：各撮影モードで設定できる機能一覧（p. 160）
撮影モードを選ぶ（p. 11）

セルフタイマーで撮る

1. ボタンを押し (①)、▲/▼ボタンで または 、 を選択する (②)

・シャッターボタンを全押しすると、セルフタイマーランプが点滅（赤目緩和の場合は撮影の 2 秒前から点灯）します。

解除のしかた：ボタンを押して、を選択します。

	10 秒後：シャッターボタンを押してから、10 秒後に撮影します。 ・撮影の2 秒前になるとセルフタイマー音が速く鳴り*1、セルフタイマーランプの点滅も速くなります。
	2 秒後：シャッターボタンを押してから、2 秒後に撮影します。 ・シャッターボタンを押すと同時にセルフタイマー音が速く鳴り*1、2 秒後に撮影されます。
	カスタム：セルフタイマーの開始時間（0 ～ 10*2、15、20、30 秒後）や撮影枚数（1 ～3*2～10 枚）を変更して撮影できます（p. 19）。 ・[時間] が2 秒以上の場合、セルフタイマー音は撮影の2 秒前から鳴り始めます。[枚数] で複数画像を設定したときは、1 画像目の撮影時のみセルフタイマー音が鳴ります。

＊1 マイカメラコンテンツの設定により異なります。

＊2 初期設定

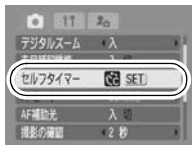
撮影モードによっては設定できないことがあります。

➔ 応用編：各撮影モードで設定できる機能一覧（p. 160）

➔ 撮影モードを選ぶ（p. 11）

■撮影開始時間と撮影枚数を変更する（）

1. （撮影）メニュー▶［セルフタイマー］▶FUNC./SET ボタンを押す

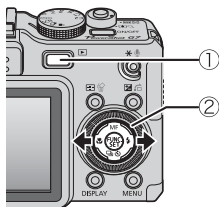
➔メニューの表示と設定のしかた（p. 22）

2. ▲/▼ボタンで［時間］または［枚数］を選び、◀/▶ボタンで設定内容を変更して FUNC./SET ボタンを押す

3. MENU ボタンを押す

［枚数］が 2 枚以上の場合、次のようになります。
- 1 画像目の撮影で、露出やホワイトバランスが固定されます。
- ストロボが発光するときは、撮影間隔が長くなります。
- カメラ内部のメモリーがいっぱいになると、撮影間隔が長くなることがあります。
- メモリーカードの容量がいっぱいになると自動的に撮影を終了します。

再生する

1. ▶ボタンを押す（①）

最後に再生した画像が表示されます（再生レジューム）。ただし、撮影をしたときは、最後に撮影した画像が表示されます。また、メモリーカードを交換したり、パソコンでメモリーカード内の画像を編集した場合は、最新画像を表示します。

2. ←/→ボタンで見たい画像を表示する（②）

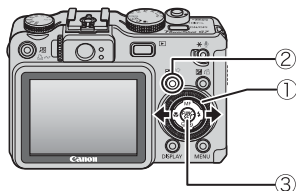
- ←ボタンで前の画像、→ボタンで次の画像を表示します。
- ボタンを押し続けると早く進みますが、表示される画像は粗くなります。
- コントローラーホイールでも、画像を選べます。反時計回りに回すと前の画像、時計回りに回すと次の画像を表示します。

コントローラーホイール操作時の再生画面

→ 応用編でいろいろな再生方法をご確認ください。
→ コントローラーホイール（p. 4）

消去する

1. 再生モードのとき、←/→ボタンで消去したい画像を選び（①）、
   ボタンを押す（②）

   コントロ一ラ一ホイ一ルでも画像を選べます。

2. ［消去］が選択されていることを確認し、FUNC./SET ボタンを押す（③）

   操作を取り消すときは、［キャンセル］を選びます。

消去した画像は復元できません。十分に確認してから消去してください。

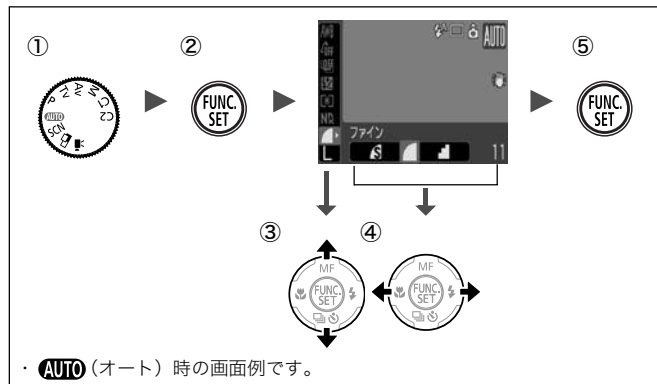
→応用編：画像を消去する（p. 103）

メニューの表示と設定のしかた

撮影時や再生時の設定や、印刷の設定、日付 / 時刻、電子音などのカメラの設定は、FUNC. メニューまたは撮影 / 再生 / 印刷 / 設定 / マイカメラメニューを使って操作します。

FUNC. メニュー

撮影時に、よく使う機能を設定します。

・AUTO（オート）時の画面例です。

① 撮影モードダイヤルを撮影したいモードにする

② FUNC./SET ボタンを押す

③ ↑/↓ ボタンでメニュー項目を選ぶ

・撮影モードによって、選択できないメニュー項目があります。

④ ←/→ ボタンで設定内容を選ぶ

・設定項目によっては、MENU ボタンでさらに変更できます。

・選択後、シャッターボタンを押してすぐに撮影できます。撮影後は、再びこの画面が表示され、設定を変更できます。

・コントローラーホイールでも選べます。

⑤ FUNC./SET ボタンを押す

→ 応用編：メニュー一覧（p. 24）

撮影 / 再生 / 印刷 / 設定 / マイカメラメニュー

撮影 / 再生 / 印刷時の便利な機能を設定します。

・AUTO(オート)時の撮影メニューの画面例です。
・再生時は、再生 / 印刷 / 設定 / マイカメラメニューが表示されます。

① MENU ボタンを押す

② ◆/◆ ボタンでメニューを切り換える

・ズームレバーでもメニューの切り換えができます。

③ ▲/▼ ボタンでメニュー項目を選ぶ

・撮影モードによって、表示されるメニュー項目が異なります。
・コントローラーホイールでも選べます。

④ ◆/◆ ボタンで設定内容を選ぶ

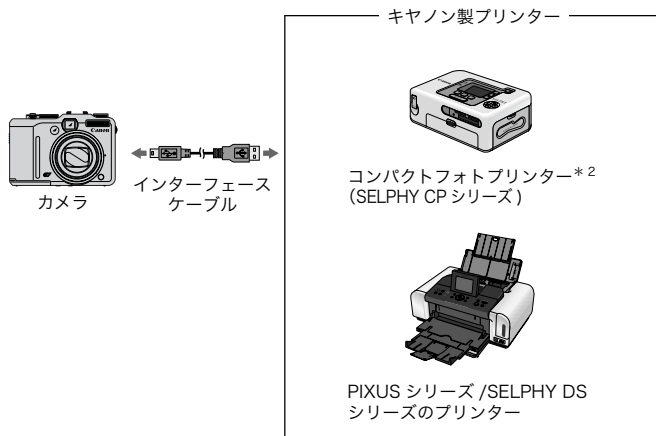
・「...」のある項目では、FUNC./SET ボタンを押して次のメニューを表示してから設定します。設定後、再度 FUNC./SET ボタンを押して設定内容を確定します。

⑤ MENU ボタンを押す

➔ 応用編：メニュー一覧（p. 24）

印刷する

カメラとカメラダイレクト対応プリンター＊[1] をケーブルで直接つなぎ、🖨ボタンを押すだけで、簡単に印刷できます。

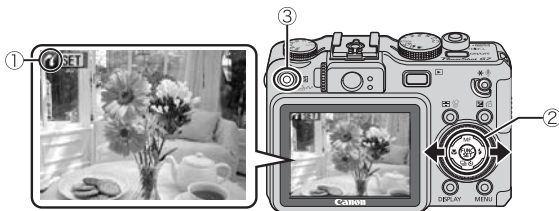
1. カメラとカメラダイレクト対応プリンターを接続し、プリンターの電源を入れる

＊1 このカメラは標準規格「PictBridge（ピクトブリッジ）」に対応していますので、キヤノン製プリンターだけでなく、キヤノン製以外のPictBridge 対応プリンターでも印刷できます。

＊2 カードフォトプリンター CP-10/CP-100/CP-200/CP-300 もお使いになれます。

2. ▶ボタンを押して、液晶モニター左上に、🖨または🖨、🖨が表示されていることを確認する（①）

・🖨〜ボタンが青色に点灯します。
・表示されるアイコンはプリンターによって異なります。
・動画の場合、SET🎥が表示されます。

3. ←/→ボタンで印刷したい画像を選び（②）、🖨〜ボタンを押す（③）

・🖨〜ボタンが青く点滅し、印刷が始まります。
・コントローラーホイールでも画像を選べます。

➔ 応用編：DPOF の印刷指定（p. 105）
➔ ダイレクトプリントユーザーガイド
➔ お使いのプリンターの使用説明書

パソコンに画像を取り込む

カメラで撮影した画像をパソコンに取り込む方法は次のとおりです。お使いの OS によっては利用できない方法があります。あらかじめ「パソコンに必要なシステム構成（p. 27）」でご確認ください。

■カメラとパソコンを接続する

付属のソフトウェア	インストールする		インストールしない
取り込む方法	パソコンの操作	カメラの操作	パソコンの操作
Windows 98 SE	●	●	–
Windows Me	●	●	–
Windows 2000	●	●	–
Windows XP	●	●	●
Mac OS X	●	●	●

パソコンに必要なシステム構成
・基本編（p. 27）
・ソフトウェアクイックガイド

カメラとパソコンを接続する
・基本編（p. 29）

パソコンに画像を取り込む
・基本編（p. 30、31）
・ソフトウェアクイックガイド

（インストールしない場合）
・Windows® XP、Mac OS Xをお使いの方へ

■メモリーカードリーダーを利用する

上記のすべての OS でお使いになれます。ソフトウェアクイックガイドでご確認ください。

パソコンに必要なシステム構成

ソフトウェアは、以下の条件を満たすパソコンにインストールしてお使いください。

■Windows

OS	Windows 98 Second Edition（SE） Windows Me Windows 2000 Service Pack 4 Windows XP（Service Pack 1、Service Pack 2を含む）
機種	上記OSがプリインストールされていて、USBポートが標準装備されていること
CPU	Pentium 500MHz以上
RAM	Windows 98 SE / Windows Me　：128MB以上 Windows 2000 / Windows XP　：256MB以上
インターフェース	USB
ハードディスク空き容量	●Canon Utilities ・ZoomBrowser EX　：200MB以上 ・PhotoStitch　：40MB以上 ●Canon Camera TWAIN Driver　：25MB以上 ●Canon Camera WIA Driver　：25MB以上
ディスプレイ	1,024×768ドット High Color（16bit）以上

■Macintosh

OS	Mac OS X（v10.2～v10.4）
機種	上記OSがプリインストールされていて、USBポートが標準装備されていること
CPU	PowerPC G3/G4/G5 または Intel プロセッサー＊
RAM	256MB以上
インターフェース	USB
ハードディスク空き容量	●Canon Utilities ・ImageBrowser　：200MB以上 ・PhotoStitch　：40MB以上
ディスプレイ	1,024×768ドット 32,000色 以上

＊EOS Utility（EOS DIGITAL シリーズ用のソフトウェア）は PowerPC のみ対応しています。

画像を取り込む準備をする

必ずソフトウェアをインストールしてから、カメラとパソコンを接続してください。

■用意するもの

・カメラとパソコン
・カメラに付属の「Canon Digital Camera Solution Disk」
・インターフェースケーブル（必ずカメラに付属のケーブルをお使いください。）

1. ソフトウェアをインストールする

1.Canon Digital Camera Solution Disk を CD-ROM ドライブにセットする

Macintosh CD-ROM 内の［Canon Digital Camera Installer］アイコン（ ）をダブルクリックします。インストーラーパネルが表示されたら［インストール］をクリックします。

2.［おまかせインストール］をクリックする

Macintosh ［おまかせインストール］を選択し、［次へ］をクリックします。

インストール内容を確認しながら、インストールを進めます。

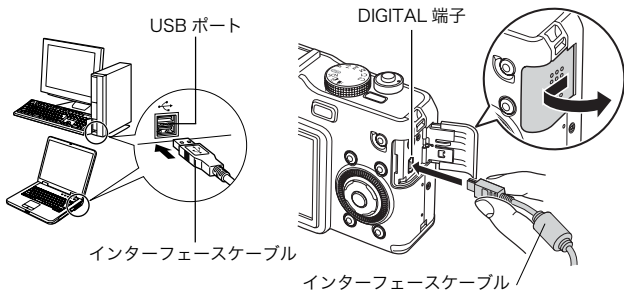
3.インストールが終了したら、［完了］または［再起動］が表示されるので、表示されたボタンをクリックする

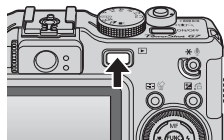
Macintosh インストールが終了したら［終了］をクリックします。

4.通常のデスクトップの画面が表示されたら、Canon Digital Camera Solution Disk を CD-ROM ドライブから取り出す

2. カメラとパソコンを接続する

1.付属のインターフェースケーブルで、パソコンの USB ポートとカメラの DIGITAL 端子を接続する

カメラの端子カバーをスライドして開き、インターフェースケーブルを奥まで差し込みます。

2.▶ボタンを押す

カメラとパソコンが通信できる状態になります。

カメラの DIGITAL 端子からインターフェースケーブルを取り外すときは、必ず、コネクターの側面を持って取り外してください。

Windows

［デジタル署名が見つかりませんでした］と表示された場合は、［はい］をクリックしてください。接続が完了し、カメラとパソコンが通信できる状態になると、USB ドライバが自動的にパソコン内にインストールされます。

Windows パソコンに画像を取り込む

カメラとパソコンが通信できる状態になると、初期設定を行うウィンドウが表示されます。

1. [Canon CameraWindow] を選び、[OK] をクリックする（初回のみ）

右のウィンドウが表示されない場合は、[スタート] メニューから [すべてのプログラム] または[プログラム] ▶ [Canon Utilities] ▶ [CameraWindow] ▶ [PowerShot-IXY-IXUS-DV 6] ▶ [CameraWindow] をクリックします。

2. 画像を取り込む

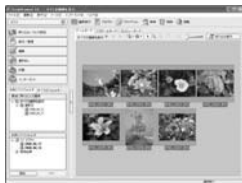
・「カメラの操作」または「パソコンの操作」で画像を取り込みます。
・初期設定では、[マイピクチャ] フォルダに画像が取り込まれます。

カメラの操作で画像を取り込みます (p. 32)。

パソコンの操作で画像を取り込みます。初期設定では、まだ取り込まれていない画像がすべて取り込まれます。

取り込む画像の種類や保存先フォルダを設定できます。

ZoomBrowser EX のメインウィンドウに、取り込まれた画像のサムネイル（縮小された画像）が表示されます。初期設定では、パソコンに取り込まれた画像は、撮影日ごとにフォルダに保存されます。

Macintosh パソコンに画像を取り込む

カメラとパソコンが通信できる状態になると、次のウィンドウが表示されます。表示されない場合は、Dock（デスクトップ下部に表示されるバー）の［Canon CameraWindow］アイコンをクリックします。

1. 画像を取り込む

・「カメラの操作」または「パソコンの操作」で画像を取り込みます。
・初期設定では、［ピクチャ］フォルダに画像が取り込まれます。

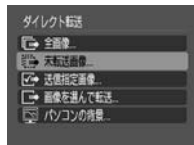
ImageBrowserのブラウザウィンドウに、取り込まれた画像のサムネイル（縮小された画像）が表示されます。初期設定では、パソコンに取り込まれた画像は、撮影日ごとにフォルダに保存されます。

カメラの操作で画像を取り込む（ダイレクト転送）

カメラの操作で画像を取り込めます。初めてダイレクト転送で画像を取り込むときは、付属のソフトウェアを最初にインストールし、パソコンの設定をしておいてください (p. 28)。

	全画像	すべての画像をパソコンに取り込み、保存します。
	未転送画像	まだ取り込んでいない画像だけをパソコンに取り込み、保存します。
	送信指定画像	送信指定した画像（応用編 p. 109）だけをパソコンに取り込み、保存します。
	画像を選んで転送	画像を見ながら1画像ずつパソコンに取り込み、保存します。
	パソコンの背景	画像を見ながら、パソコンのデスクトップの背景にしたい画像を取り込みます。取り込んだ画像は、パソコンのデスクトップに背景として表示されます。

1. カメラの液晶モニターにダイレクト転送画面が表示されていることを確認する

- ボタンが青色に点灯します。
- ダイレクト転送画面が表示されない場合は、MENU ボタンを押してください。

ダイレクト転送画面

■［全画像］［未転送画像］［送信指定画像］のとき

2. 、、のいずれかを選び、ボタンを押す

- 画像が取り込まれます。取り込み中は、ボタンが青色に点滅します。取り込みが終了するとダイレクト転送画面に戻ります。
- 取り込みを中止するときは、FUNC./SET ボタンを押してキャンセルします。

■［画像を選んで転送］［パソコンの背景］のとき

2. または を選び、ボタン（または FUNC./SET ボタン）を押す

3. 取り込みたい画像を選び、ボタン（または FUNC./SET ボタン）を押す

・画像が取り込まれます。取り込み中は、ボタンが青色に点滅します。
・インデックス再生時（応用編 p. 84）も、画像を選べます。
・MENU ボタンを押してダイレクト転送画面に戻ります。

［パソコンの背景］の場合、JPEG 圧縮の画像のみが取り込まれます。Windows をお使いの場合は、BMP 画像が自動的に作られます。

ボタンで選択した項目は、カメラの電源を切っても記憶されます。次回、ダイレクト転送画面を表示したときは、前回設定した項目が選択されます。［画像を選んで転送］と［パソコンの背景］を選択していたときは、ただちに画像を選択する画面が表示されます。

安全上のご注意

本機器を使用する際は、けがや火災、感電などを防ぐため、下記の注意事項にしたがって、正しくお使いください。

カメラユーザーガイド（応用編）の「取り扱い上のご注意」も必ずお読みください。

⚠ 警告

- **ストロボを人の目に近付けて発光しないでください。**
- **お子様や幼児の手の届かないところに保管してください。**
- **落下などで、強い衝撃を与えないでください。カメラのストロボ部分が破損した際は、内部には触れないでください。**
- **煙が出ている、焦げ臭いなどの異常状態のまま使用しないでください。**
- **濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。**
- **指定外のバッテリーを使用しないでください。**
- **バッテリーチャージャー、コンパクトパワーアダプターの出力端子は本機器専用です。他のバッテリーや製品には、お使いにならないでください。**

修理受付窓口やホームページのご案内はカメラユーザーガイド（応用編）の裏表紙をご覧ください。

Li-ion

リチウムイオン電池のリサイクルにご協力ください。

Canon

キヤノン株式会社

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

〒108-8011 東京都港区港南2-16-6

CDI-J286-010　XXXXXXXX　PRINTED IN JAPAN

© 2006 CANON INC.